

水性リガードトップワンSi

水性形一液FRPベランダ防水専用シリコン系上塗材

【対応素材】
ベランダ・バルコニー（FRP防水下地）

【試験成績】
■『鏡面光沢度』 合格（参考試験方法：JIS K 5600 塗料一般試験方法）
■『耐疲労性試験』『耐汚染性』『耐水性』『耐塩水性』 全て合格（自社試験による）

ベランダ・バルコニーの標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
上塗	水性リガードトップワンSi	12kg	—	—	0.30～0.40kg/㎡	2	2時間以上 72時間以内	—	歩行可能: 2時間以上 使用可能: 24時間以上	ハケ/ローラー

【下地調整】
●ゴミ、埃、汚れ等が付着している場合、清掃して除去してください。
●塗膜のチョーキング、こびり付いた汚れやカビや藻、塗膜の浮き等は完全に除去してください。密着が弱く、浮きが発生している旧塗膜が残っている場合、施工後の剥離や割れの原因となります。
●既存FRP防水下地は表層のワックス成分除去のため、電動工具等を用いて研磨してください。
●研磨粉を除去した後、布ウエス等でアセトン拭きを行いワックス分を除去してください。ハジキ・密着不良の原因となるため、研磨とアセトン拭きは十分に行ってください。
●下地が乾燥していることを確認して次の工程に入ってください。

【施工上の注意】
●施工にあたっては、カタログ及び、製品ラベルに記載の注意事項をよく読んでご使用ください。
●パンフレット裏面に記載の数値は、標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件等により、多少の幅が生じます。
●気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。屋外施工では翌日までに、降雨、降雪が予想される場合の施工は避けてください。
●塗布量の確保と仕上がりから、中長毛/ウーブンタイプのローラーを推奨します。
●上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
●塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行う場合は、ローラー又は刷毛等の塗装方法により、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
●FRP防水面に亀裂・剥離等の欠損がある場合は、水性リガードトップワンSiの施工は行わないでください。そのまま施工した場合、下地の凹凸を拾ったり亀裂が再発する恐れがあります。
●上塗り2回目の塗装は、1回目塗装後の72時間以内に行ってください。塗装間隔が72時間以上空いた場合は、表面の目荒らしを行ってください。
●厚塗りを行わないでください。塗料のダレや仕上がりに影響し、塗膜表面のひび割れの原因となります。
●本製品はFRP防水面改修用トップコートです。ウレタン防水面の改修には使用しないでください。

荷姿	12kg、4kg
塗布量	0.30～0.40kg/㎡
希釈	—
艶	3分艶
色	グレー（N-55近似）
可使時間	—

■ 製品については下記までお問合せください。



製造・販売元 株式会社 アステックペイント

本社 / 〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1 9F

astecpaints.jp

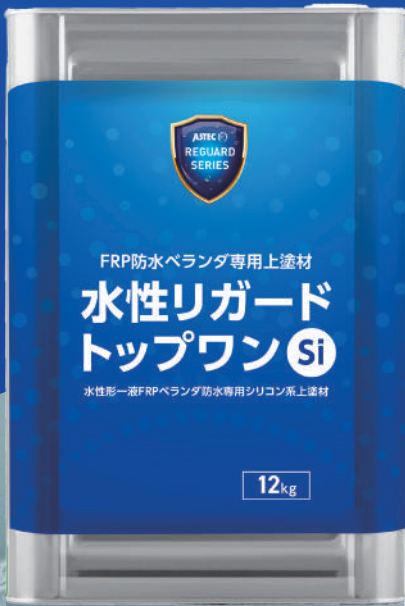
ver.202609



FRP防水ベランダ専用上塗材

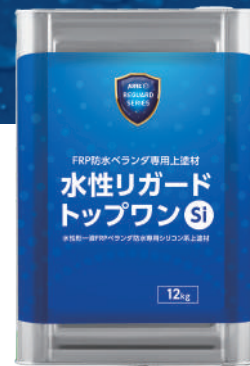
水性リガード トップワン Si

水性形一液FRPベランダ防水専用シリコン系上塗材



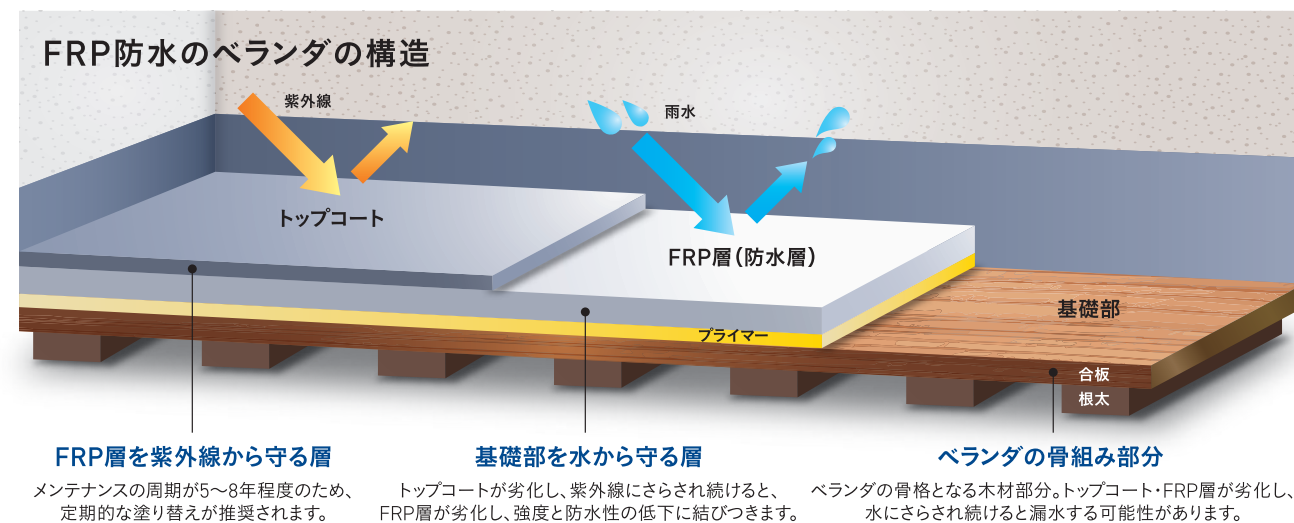
ベランダの防水層を保護し、 住まいの長寿命化に貢献

住宅のベランダは、建物の中でも最も水が溜まりやすい場所です。そのため、多くの住宅のベランダにはFRP防水という防水工法が採用されています。しかし、このFRPの防水層は紫外線に弱く、劣化すると防水機能が低下してしまうため、定期的なメンテナンスが必要です。水性リガードトップワンSiは、ベランダの防水層を紫外線から保護するベランダ専用塗料。優れた耐候性に加え、良好な付着性・速乾性を発揮するため、工期の短縮にも貢献します。



水性リガードトップワンSiは ベランダの美観を蘇らせます。

水性リガードトップワンSiは、表面をコーティングすることで、ベランダの美しさを蘇らせることができます。



FRP防水のベランダのメンテナンスのサイン

※屋根の有無や日当たりなどのばく露環境、および清掃やダメージの有無などにより、劣化症状の発生時期は変動します。

初期症状
目安：新築から約5～10年程度
「汚れ」や「色ムラ」、
「藻の発生」などが見られます。



中期症状
目安：新築から約10～15年程度
トップコートの「ひび割れ」や「剥離」
などが見られます。



末期症状
目安：新築から約15～20年程度
「防水層の劣化」などが見られ、
雨漏りなどに繋がる可能性があります。



トップコート工法
(水性リガードトップワンSi)

ウレタン塗膜防水工法

防水工事専門業者に依頼

**FRP防水のベランダにメンテナンスのサインが見られる場合は、
早期の修繕がおすすめです。**

※水性リガードトップワンSiはトップコート工法でのみご使用いただけます。

FRP防水のベランダのメンテナンスに最適な 水性リガードトップワンSiの3つの価値

①優れた耐候性で紫外線から防水層を保護

促進耐候性試験(キセノンランプ式)の結果、約5～8年相当経過後※1もひび割れ等の劣化はなく、紫外線に対して高い耐性を発揮することが実証されました。※2

※1:期待耐用年数 ※2:あくまで試験環境下に基づく推測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。

▼促進耐候性試験(キセノンランプ式)後の塗膜表面
(電子顕微鏡200倍にて観察)



水性リガードトップワンSi
塗膜表面に異常なし



他社水性一液FRP防水専用塗料
塗膜表面に多数のひび割れが発生

「HALS」の配合により、劣化要因“ラジカル”を捕捉

※HALS: Hindered Amine Light Stabilizer (光安定剤)

塗料に含まれる「酸化チタン」は、紫外線の影響を受けることで「ラジカル」と呼ばれる劣化要因を発生させます。水性リガードトップワンSiは、塗膜中に発生したラジカルを捕捉する「HALS(光安定剤)」を配合。ラジカルによる塗膜の劣化を抑制します。



HALSがラジカルを捕捉。
ラジカルによる塗膜劣化を抑える

②FRP防水のベランダに対して良好な付着性を発揮

一般的なベランダ専用上塗材では、下塗材を使用することで下地と塗膜の付着性を高めます。水性リガードトップワンSiは、上塗材単体でも各種一般的な旧塗膜に対して良好な付着性を発揮します。

付着性試験※

FRP防水面に水性リガードトップワンSiを塗布し、付着性試験を実施。水性リガードトップワンSiの付着性は良好であることが確認されました。

※塗料を塗布した試験体に基盤目状の切り込みを入れ、テープを剥ぎ取る試験。テープを剥ぎ取った後も塗膜の剥離が見られない状態＝付着性に優れていると言える。



水性リガードトップワンSi
付着性が十分のため、塗膜の剥離がない

下地の種類	付着性
FRP防水面	○
水性アクリル系塗料	○
水性アクリルウレタン系塗料	○
溶剤系アクリルウレタン系塗料	○

FRP防水の下地をはじめ、各種一般的な旧塗膜に対する良好な付着性が確認されました

③乾燥が速く工期短縮に貢献

水性リガードトップワンSiは塗装後最短2時間※1で乾燥する優れた速乾性※2を発揮するため、工期の短縮に貢献します。

※1:外気温が25℃の場合 ※2:施工時の環境により、乾燥時間は変動します。